

2022年3月期 第2四半期 決算説明会 質疑応答の要約

開催日時： 2021年10月27日 16:00~17:00

開催場所： SBテクノロジー株式会社 本社 (Teams開催)

回答者： 代表取締役社長 CEO 阿多 親市

<質問者1>

(1) 通期業績予想を修正されましたが、期初予想から状況が大きく変わった点を教えてください。

期初時点で不明瞭だった次期情報セキュリティクラウドが周辺案件も合わせて受注出来ていること、見込を保守的にしていたエンタープライズ顧客のIT投資が堅調に回復していること、加えてソフトバンク(株)向けのIT支援案件について対応範囲が想定以上に拡大していることが今回の上方修正の主な理由です。

(2) 農水省向けの大型開発を進めているとのことですが、現在の進捗状況はいかがでしょう？

農水省向け電子申請案件については、職員の方々が自ら電子申請を作成可能なプラットフォームを構築後、そのサポートや教育を合わせて提供しており、非常に良い評価をいただいています。まだこのあとも継続してさらに申請フローの電子化を支援してまいります。

また、デジタル地図案件は先ほどご説明の通り受注損失引当金を計上いたしましたでしたが、実証実験を含めて対応中です。農業だけでなく他分野にも活用できるような仕組みであるため、来年度以降に大きくなっていくことを期待しています。

(3) 農水省向けの電子申請基盤を構築した経験やノウハウは御社の強みだと思います。職員が電子申請を実装できる仕組みは大変素晴らしいと思いますが、横展開についてのお考えを教えてください。

私としては大変期待をしております。しかしながら、現時点で同様の仕組みの展開や開発について他省庁で決まっている案件はございません。

(4) 来期から始まる4次中期計画について、テーマや方向性が決まっていれば教えてください。

上期に全社員が集まって話し合った意見やアイデアの内容について分析を進めており、11月から本格的に経営幹部での検討に移ります。第3次中期計画でうまくいったことはよりうまくいくように、ダメだったことは見直します。社長就任時に掲げた「大きく成長する」という方針にはこだわって次の中期計画の検討を進め、具体的な内容は来年4月の本決算での発表を予定しております。

以上